

平成23年度決算

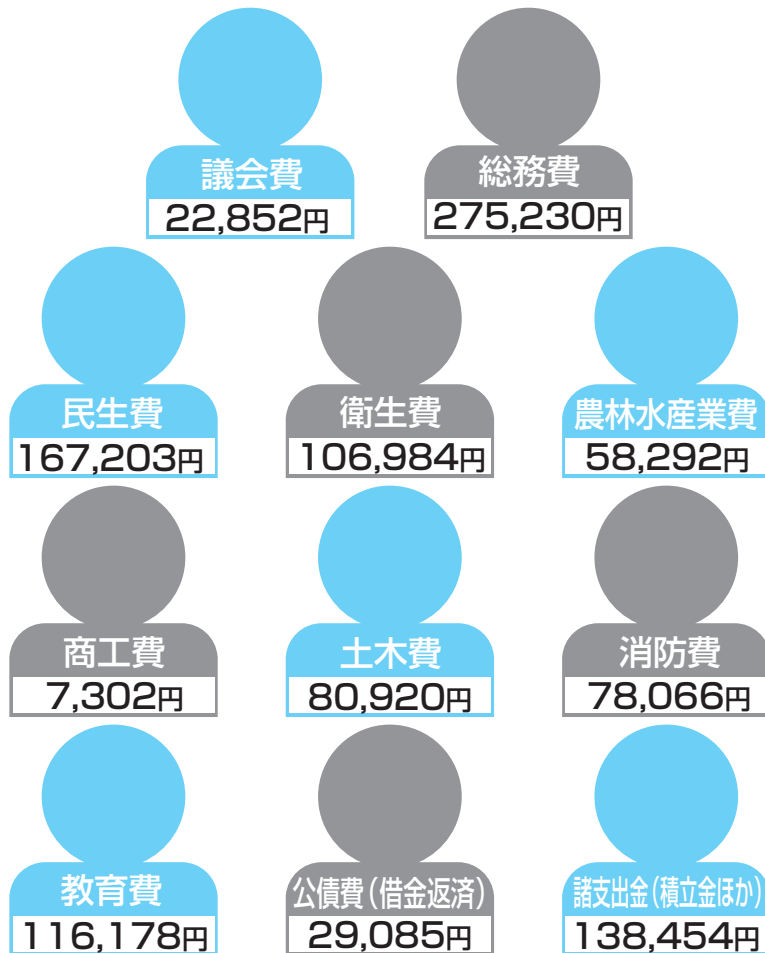
一般会計
特別会計

64億円を検証!!

一般会計決算

歳入（財源）	52億8,234万円
歳出（使いみち）	48億8,848万円
差引額	3億9,386万円

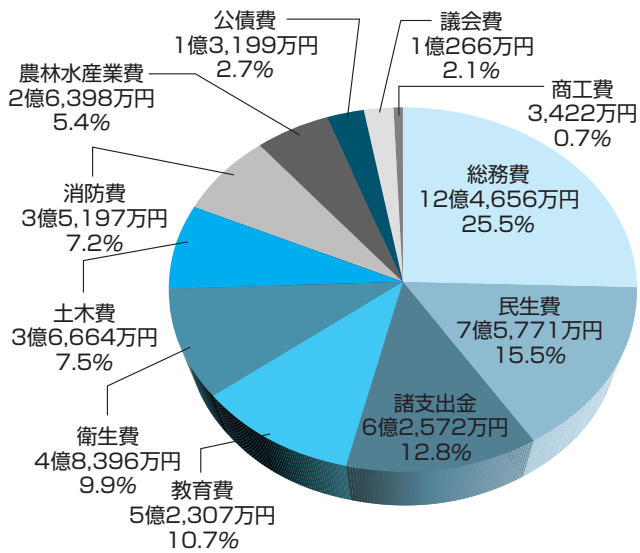
◆歳出総額48億8,848万円を
村民(4,524人) 1人あたりにすると・・・**108万566円**



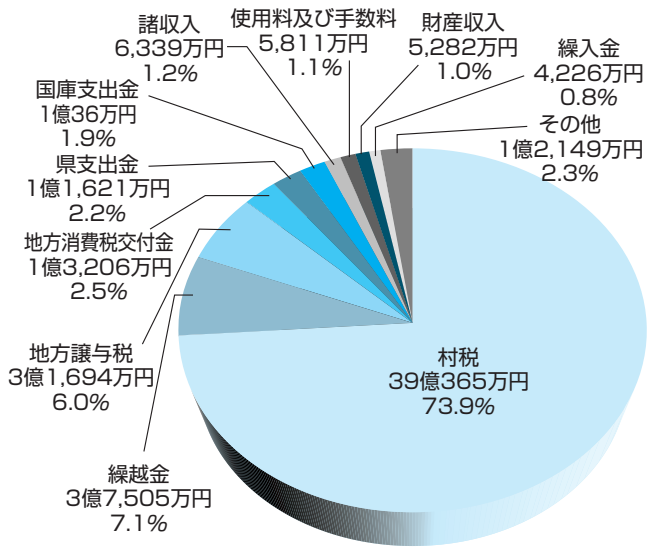
9月定例会(9月13日)

9月定例会は、3日に招集され、19日までの17日間の会期で開かれました。
条例改正2件、平成23年度の会計決算6件、補正予算5件の13議案が提出され、いずれも
原案のとおり認定・可決しました。
また最終日には、人事案件3件、意見書4件が追加提出され、いずれも原案のとおり可決
採択しました。

一般質問は、会期11日目（9月13日）に6人が当面する村政の問題をたどしました。



歳出 (使いみち)



歳入 (財源)

問 村税の滞納徴収について、滞納整理機構へ職員を派遣しているが、徴収のやり方がかなり厳しいと聞か、どうか。生活権を基本に考えて欲しい。

答 村の案件は徴収困難であった案件、徴税猶予を認められたにもかかわらず納税されていない案件である。一括納付が困難な滞納者には状況も配慮した納税相談や指導をしている。パートや嘱託は増員されている。行政改革とはいえ事務量が減るわけではないので、職員を減らすのはどうかと考える。事務やサービスをきちんと提供するために正職員をきちんと配置することが大切だ。

問 パートや嘱託は増員されている。行政改革とはいえ事務量が減るわけではないので、職員を減らすのはどうかと考える。事務やサービスをきちんと提供するために正職員をきちんと配置することが大切だ。

答 パート、嘱託職員については、それに見合った形態で色々な面で仕事をさせていたでいる。職員のこれ

問 以上の削減は好ましくない。現状が妥当と考える。

問 公共バスの法定協議会には高額の金が出ているが、実質的な経理運営はどこがしているのか。また国からの補助制度が複雑な状況になっている。運営報告を示してほしい。

答 村の職員がやっている。報告する。

問 水泳講師を業者から切り替えた段階で経費が安くなると思っていたが、現状は逆に増加している。当然、参加者の数も増加しているので講師料も増えるわけだが契約内容はどうか。

答 水泳教室の利用者の要望を聞きながら教室を増やしてきた。以前は業者と委託契約したが、今は技術のある個人に依頼している。予算に不足が出れば補正、余ればそのまま

問 職員研修事業が委託料にあるが、せっかくなにものをやっても成果が表れていないように思われるがどうか。少人数で事務をこなし、いく方法を、飛鳥独自で見出していくためにも、役場のみでなく外に研修に出して能力の向上を図る考えはないか。

答 法制執務・ISO研修、また健康管理ということで、メンタルへの研修も取り入れられている。一つのご意見として受け止めさせていただきます。

問 職員研修事業が委託料にあるが、せっかくなにものをやっても成果が表れていないように思われるがどうか。少人数で事務をこなし、いく方法を、飛鳥独自で見出していくためにも、役場のみでなく外に研修に出して能力の向上を図る考えはないか。

答 予算編成をする場合、各部課長と例年の決算額を比較しながら予算の検討をしている。今後さらに精査する。

問 職員研修事業が委託料にあるが、せっかくなにものをやっても成果が表れていないように思われるがどうか。少人数で事務をこなし、いく方法を、飛鳥独自で見出していくためにも、役場のみでなく外に研修に出して能力の向上を図る考えはないか。

答 職員研修事業が委託料にあるが、せっかくなにものをやっても成果が表れていないように思われるがどうか。少人数で事務をこなし、いく方法を、飛鳥独自で見出していくためにも、役場のみでなく外に研修に出して能力の向上を図る考えはないか。

討論

反対：橋本 渉議員

村は財政が豊かであり、基金も8億程積まれている。村税を始め施設の使料、医療費も他の自治体と変わらない。豊かな財政で村民の負担を軽減するべきと考え反対するもの。

賛成：鈴木義男議員

安心・安全・安定の村づくりの推進に向け、事業計画に沿って執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願います。

(賛成7反対1で認定)



特別会計

決算額

(千円以下切り捨て)

会計名		歳入額	歳出額	差引額
国民健康保険		5億6,981万円	5億1,884万円	5,097万円
農業集落排水処理施設事業		1億5,850万円	1億5,401万円	449万円
土地取得		145万円	145万円	0万円
介護保険	保険事業勘定	3億3,504万円	3億2,468万円	1,036万円
	サービス事業勘定	47万円	46万円	1万円
後期高齢者医療		5,143万円	5,043万円	100万円

国民健康保険

問 飛島村は国民健康保険税が安いと言われるが、飛島村は資産を持つていて多いため、どうしても資産割が高くなる。医療費負担の状況、また保険税はどうか。

答 医療費は、今後とも年々増加すると見込まれる。保険税については一般会計からの繰入をしながら現状維持で進めたい。

討論

反対：橋本 渉議員

飛島村は保険税の負担軽減のために一般会計から繰入れを努力はしているが、実際に住民にとっては大変大きな金額負担になっているため反対する。

賛成：村上雅之議員

毎年増加傾向にある医療費と不安定な社会情勢を鑑みれば、住民の負担

増は避けられないが、今以上の住民負担を増やさず、堅実な国保財政を目指す努力することを願います。

(賛成7 反対1で認定)

農業集落排水処理施設事業

(全員賛成で認定)

土地取得

問 この会計があるだけで支出が生じてくると思われる。なくしてはどうか。

答 使ってなくなるお金ではないので、ご理解願いたい。

討論

反対：橋本 渉議員

飛島村にはこの特別会計は必要がない。この特別会計を持つことにより経費が必要になる。こういう無駄な経費は必要

賛成：鈴木義男議員

安心・安全・安定の村づくり推進のため適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行を望み、村民の生活環境の向上に努力することを願います。

(賛成7 反対1で認定)

介護保険

問 村だけでどうかで、現在の会計ではないが、現状と今後の見通しはどうか。負担は大きくなるのか。

答 今年度から3年間保険料が上がっている。今後の見通しは保険者負担は増える。

討論

反対：橋本 渉議員

介護保険制度が始まって以降、住民負担が増大している。また制度の内容が、負担は増えても、

なかなか利用できない状況がある。もっと利用しやすい制度になることを希望し、反対する。

賛成：村上雅之議員

この会計は主に保険給付費であり、その額は毎年度微増状態である。今後も適切な運営と要介護者に対するサービスの提供者を通じ、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営めることを願います。

(賛成7 反対1で認定)



高齢者交通安全教室

討論

反対：橋本 渉議員

この制度が始まって以降、住民負担が増大していることや受けたい医療がなかなか受けられない現状から反対する。

賛成：村上雅之議員

この会計は高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるための制度である。今後も事業の充実や制度に対する理解を求め賛成する。

(賛成7 反対1で認定)

(千円未満切り捨て)

基金名	平成23年度末現在高
財政調整基金	現金 33億2,157万円
地域整備基金	現金 35億4,033万円
減債基金	現金 2,749万円
人材育成基金	現金 5億1,241万円
地域福祉振興基金	現金 1億3,482万円
国民健康保険支払準備基金	現金 3,079万円
	不動産(土地 雑種地) 4,514.00㎡
土地開発基金	現金 3億0,797万円
	現金 1,240万円
介護給付費準備基金	現金 1,240万円
基金合計	現金 78億8,778万円

監査委員の決算審査意見

平成24年7月17日から7月27日にかけて監査委員若菜政見氏、加藤光彦氏により、決算審査が行われました。
一般会計、特別会計、土地開発基金の運用状況を審査した結果をまとめ、8月17日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

平成23年度一般会計、特別会計の歳入歳出決算に関する調査は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても、特に問題とする事項はありませんでした。

全般にわたり、新しい技術の導入や取り組みへの挑戦意欲が希薄であると感じられる。村として、新たな取り組みのために、職員が研さんを積む環境づくりが必要と考える。

歳出面では、社会全体で節電やエコが求められている昨今、本村においても業務に支障をきたさない範囲で光熱水費の削減に最大限の努力を望む。

また、備品の管理・修理・廃棄を適切に行い、購入時には世間相場を意識した単価設定を心がけ、備品の効率的な利用を求めらる。

次に、昨年指摘したりサイクル事業の、剪定枝の処理総量の増加抑制努力を。また、道路補修や公園管理についても、同じ補修を何度も繰り返さない方策を模索し、村の設置物の状況が適正であるか適宜確認することを求める。

歳入面では、長引く景気低迷による不能欠損額の増加が懸念される。引き続き、徴収率向上のため不断の努力を期待する。

最後に、ますます厳しくなると思われる社会情勢において、大胆な施策の執行と同時に事務処理の合理化・能率化等、さらに連携を密にし、より一層有意義な取り組みを要望して審査の結びとする。

審査意見より(要旨)



意見書を村長に手渡しする委員